

### 第三者評価結果

事業所名：ウィズブック青木町

#### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成	第三者評価結果
<p>A-1-(1)-①</p> <p>【A1】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画は法人本部が作成しており、法人の理念や保育方針に則って作成しています。園では、法人の作成した全体的な計画をもとに、各種指導計画を作成しており、さらに、年度の始めに園のしおりの読み合わせをして理念の共有を図っています。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	第三者評価結果
<p>A-1-(2)-①</p> <p>【A2】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、子どもたちが心地よく保育園での生活を送るために、保育室の温度や換気を適切に保つ努力をしています。また、子どもたちの使用する机や椅子には木製のものを使用し、自然の素材に触れる機会を提供しています。子どもの手の届く位置に玩具を配置し、マットを使用してゴロゴロできる環境を整備して、あそびと落ち着いて過ごせる場所を用意しています。さらに、手洗い場にはペーパータオルを設置し、子どものタオルの共有を防ぎ、健康を維持する努力をおこなっています。</p>	
<p>A-1-(2)-②</p> <p>【A3】 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの子どもの発達や成長などを把握するため、職員会議で各クラスの取り組みや子どもの様子について報告し共有しています。日々の保育の中では、子どもたちの考えや思いに寄り添い、言葉や表現を尊重して、活動につなげて一緒に経験する楽しさを提供しています。また、法人の自己評価チェックを用いて子どもたちに対して制止する言葉や急かせる言動など、不適切と思われる行動を避けるよう、定期的に確認をおこなっています。</p>	
<p>A-1-(2)-③</p> <p>【A4】 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事や排せつなどの基本的な生活習慣が身につくよう、子ども一人ひとりの発達状態を把握し、個々の発達状況に合わせて子どもが意欲的に取り組めるようにしています。そのうえで、保護者の意向や家庭での生活習慣も考慮しながら、その子どもに合った声かけや援助の方法を工夫しています。また、トイレトレーニングは保護者の意向を尊重し、随時情報共有をおこないながら、家庭と連携して子どもに無理のない進め方を心がけ、成功体験やできた喜びを大切にしています。</p>	
<p>A-1-(2)-④</p> <p>【A5】 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが自ら遊びを選んで楽しむために、子どもの手の届く位置に玩具を配置し、遊びやすい環境を整備しています。また、晴れた日には戸外でのあそびを増やし、季節に応じて自然に触れる活動をおこない、草花や虫探し、落ち葉拾い、木の実探しなどを楽しむ時間を持っています。さらに、近隣の店舗と連携してハロウィンイベントを開催し、お菓子をもらいに行く体験を通じて地域の人々と交流する機会を提供しています。</p>	

<p>A-1-(2)-⑤ 【A6】 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 一人ひとりの成長や発達の違いの大きい0歳児に対して、特に入園時の面談を丁寧におこない、家庭での様子や保護者との子どもとの関わり方などを確認しています。日々の活動や子どもの様子については、送迎時のコミュニケーションや連絡帳を通じて詳細に保護者に伝えています。子どもたちには、ウィズブックプログラムを通じた絵本を使用した活動を重視し、1対1の絵本読みなどの時間を大切に、絵本に親しみを持てるようサポートしています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑥ 【A7】 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 1・2歳児クラスでは、落ち着いた環境を整え、職員との信頼関係を築けるように配慮しています。保育室のマットは、必要最低限にして段差のない環境づくりに工夫をしています。戸外での活動では、子どもたちが自ら探索活動を楽しむために、手作りのカバンを制作しています。トイレトレーニングについては、排尿の間隔がつかめるようになってきているか、個々の成長段階や発達を把握しながら、保護者と相談して進めるようにしています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑦ 【A8】 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 幼児クラスでは、ウィズブックプログラムを通じて絵本に関連した遊びや活動を毎日おこない、子どもたちの興味を引き出しています。また、食育の一環として、ミニトマトの苗を近隣の花屋から購入し、ミニトマトの栽培をおこない、収穫後に味わう活動をおこなっています。4歳児クラスでは、カブトムシやアゲハチョウを飼育し、生命の大切さを学んでいます。5歳児は、11月ごろからお昼寝を廃止し、ひらがなの練習や制作活動などに集中する時間を設け、就学に向けて準備をおこなっています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑧ 【A9】 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 個別の配慮が必要な子どもに対して、職員がそばにつき、気持ちを受け止め、落ち着くまで寄り添うように努めています。また、必要に応じて気持ちを落ち着けるよう保育室から離れて次にとどのようなことをするべきかを分かりやすく伝え、支援をしています。また、必要に応じて関係機関の職員が巡回し、子どもの園での様子を共有しています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑨ 【A10】 それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 保育時間の長い園児に関しては、人数が少ない時間帯に乳児と幼児を分け、発達の違いに合わせたクラスで落ち着いて過ごせるように合同保育をおこなっています。夕方の時間には活動によって疲れも出てくるため、静かに座って遊ぶ環境を整備しています。その日の子どもの様子や伝達事項については、登降園チェックリストを活用し、遅番対応の職員と共有し、お迎え時に必要な情報を保護者に伝えています。</p>	
<p>A-1-(2)-⑩ 【A11】 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 園では、就学に向けて近隣の小学校と連携し、12月に小学校見学として授業の様子を視察したり、5歳児の担任が幼保小連携会に参加したりして、子どもたちの就学を支援しています。また、保育所保育要録を作成し、関連する小学校に提出し、子どもの情報を共有しています。子どもたちには、小学校就学後の生活リズムを整える支援しており、必要に応じて自分から困っていることを伝えられるようにサポートしています。</p>	

A-1-(3) 健康管理	第三者評価結果
【A12】 A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、法人が作成した保健計画を、看護師が園の実態に合わせて作成しています。また、子どもの日々の健康を把握するため、毎日看護師が各クラスを巡回し、子どもたちの健康状態を確認しています。体調に変化があった子どもや怪我をした子どもに対する対応は基本的に看護師がおこない、受診が必要な怪我の場合は状況に応じて嘱託医へ受診を勧めています。予防接種記録の書類は年に2回保護者に返却し、随時更新しています。また、SIDS（乳幼児突然死症候群）に関する情報は、入園時の面談で保護者に注意喚起をおこなうだけでなく、看護師から職員への定期的な研修もおこなっています。</p>	
【A13】 A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、年2回、歯科健診と内科健診を実施し、その結果を健康台帳に記録して子どもの健康状態を把握しています。保護者に対して、年間行事予定表にて実施する月を事前に周知し、日程が確定した際には保護者や職員に情報を共有しています。看護師からは、歯の磨き方の指導、身体に関する話、プライベートゾーンに関する話などを子どもたちにわかりやすく伝えています。健診結果の報告は、お迎え時に口頭で伝えるだけでなく、必要に応じて受診が望ましい内容がある場合には用紙に記入し配布しています。</p>	
【A14】 A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、アレルギーのある子どもに対して、アレルギー対応マニュアルに基づいて安全に食事を提供しています。アレルギー食を提供する際には、通常の食事とは異なる色の食器を使用し、提供する子どもの名前と除去内容を記入した食札を用いて、提供に誤りがないように努めています。また、保護者には毎年生活管理指導票を提出してもらい、アレルギー情報の更新や変更がないか確認するためにアレルギー面談を実施しています。</p>	
A-1-(4) 食事	第三者評価結果
【A15】 A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、法人の統括栄養士が作成した食育計画をもとに、園の状況に合わせて計画を調整しています。調理員は子どもたちが食べやすい調理方法を考案し、職員は子どもたちに無理を強わず、声かけを工夫して食事を楽しむようにサポートしています。幼児クラスでは、子どもたちが食べたい量を尋ね、食事を楽しむ機会を提供しています。食育活動には、お箸の持ち方やお皿の並べ方などのマナーから、食材の栄養価や栽培（今年はトマト）に関する情報まで含まれており、毎月保護者に情報提供をおこなうために食育だよりを配信しています。</p>	
【A16】 A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>献立は法人の統括栄養士によって作成され、園の栄養士は状況に合わせて献立を調整し、子どもたちが楽しく食べられるメニューに工夫しています。各クラスの食事状況を確認するため、栄養士が巡回し、状況を把握しています。職員会議では、その月の献立を振り返り、子どもたちの好き嫌いを把握し、状況に応じた調理方法の変更を検討しています。また、オリジナル絵本を活用したウィズブックプログラムを通じて、年齢に合った食育活動を計画し、随時実施しています。</p>	

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭と緊密な連携	第三者評価結果
【A17】 A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園では、日々の子どもの様子や活動に関する情報を連絡帳アプリを活用して提供するとともに、登降園時に口頭でも情報を伝えて保護者とのコミュニケーションを強化しています。また、クラスごとに活動の様子を写真と目的に合わせたコメントとともに玄関に掲示し、保護者に知らせています。年度末には発表会を開催し、1年間の成長を披露して、保護者と一緒に子どもの成長を喜ぶ機会を提供しています。また、年に2回、運営委員会を開催し、クラスの代表1名から園の運営、保育、行事に関する意見を収集しています。</p>	

A-2-(2) 保護者等の支援	第三者評価結果
【A18】 A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 園では、毎月1回、子育て学講座を開催し、毎回異なるテーマを取り上げ、言葉かけやファミリービルディングなどについて自由に参加できる機会を提供しています。また、年2回の個人面談をおこない、子どもの成長や発達、子育てに関する悩みなどを相談できる機会を提供しています。園内には「とまりぎのお部屋」という小部屋があり、静かに話す環境を整えています。さらに、職員は法人に入社する際に「チャイルドファミリーコンサルタント」という養成講座を全員受講し、子育てに関する知識を備え、保護者支援をおこなっています。	
【A19】 A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<コメント> 園では、虐待や子どもの権利侵害がないかを確認するために、受け入れ時や着替えなどの際に視覚的な評価をおこない、怪我などの異常や懸念がある場合はリーダーや園長に適宜報告し、子どもの状況を常に把握しようと努力しています。また、子どもの人権を尊重するため、園では横浜市の人権チェックリストや保育ガイドラインを活用し、自身の保育を振り返る機会を設け、子どもの意見を尊重した言葉かけを意識できるようにしています。気になる言葉かけや対応が見られた際には都度伝えたり、会議で話し合う機会を設けています。	

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	第三者評価結果
【A20】 A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<コメント> 園では、年度の始めに「ミッションシート」と呼ばれる書類を提出してもらい、年度末に個人の振り返りの機会を設けています。また、法人が作成した自己評価チェックを利用し、年に2回の振り返り面談を実施して、個々のスキルアップに励んでいます。振り返り面談では、その職員の取り組みや反省点を確認し、園長からは職員の優れた点についてのフィードバックをすることで、より質の高い保育を実践しています。さらに、研修を受けた後は、職員会議で学んだ内容を報告し、情報の共有を図っています。今後は、リーダーを中心に乳児・幼児クラスごとに分かれた研修会議を計画しています。	